



2014.9.29
コチ コンサルティング

第四四半期を目前に、2015年度の昇給に関する情報が飛び交い始めています。会社の昇給基準を整備されている企業でも、市場が激しく変化する中国では、市場動向に無関心では居られないのが実態です。様々な情報から何を指標とするのかが、経営の課題と思われる。本号では、2014年の最低賃金、社会平均賃金等の賃金指標を改めて検証致します。併せて、本年、史上最悪と言われた新卒者の就労状況をご報告致します。

内容 【人事・労務情報】

- 2014年の賃金実態
 - ・ 民間報酬調査／最低賃金／社会平均賃金
- 2014年新卒採用（90年代生まれの初任給）

人事・労務情報

■ 2014年の賃金実態

【民間報酬調査】

例年、多くの報酬調査会社から第三四半期終了後に当年の報酬・昇給・人材流動状況・翌年の昇給予測等が公表され、翌年の報酬調整の参考値とされますが、現時点で公表されている情報からは、2014年の日系企業、外資系企業、大手国営企業の昇給実態は平均8%台前半であり、昨年より若干の低下となると思われます。業種別では、インターネット業界、ハイテク業界の2014年昇給率が15.8%に上るとい調査もあり、職種、職務ごとの賃金市場動向の把握が重要であると思われます。

報酬調査会社報告

- ・ 2014年平均昇給率：
 - 平均昇給率は8.3%（予測の8.6%を0.3%下回り、2013年実績比0.5%低下）（中智・上海地区）
 - 平均昇給率は8.2%（昨年実績比0.3%低下）（Mercer社、第1四半期報告）
- ・ 2015年昇給率予測：
 - 8.2%。17.3%の企業が昇給実施予定なし。（中智・上海地区）
- ・ 2014年の報酬、人材流動の特徴
 - いずれの調査でも現場操作工の流動率の高さと賃金の高騰、2級・3級都市の賃金上昇率が1級都市を上回る点を指摘しています。

【最低賃金】

2014年は17地区（8月5日時点）で最低賃金が改訂されました。全国17地区の平均上昇率は14.2%であり、最低賃金の上昇率も鈍化しています。

年	最低賃金 改定地区数	平均最低賃金 引上げ率
2014	17	14.2%
2013	27	17%
2012	25	20.2%
2011	24	22%

NAVI 低賃金層の賃金向上、格差是正策としての最低賃金政策に基づき、各地で引き上げられてきた最低賃金の上昇率の顕著な鈍化傾向は、中国全体の賃金上昇に歯止めがかかりつつあることを明示しています。（詳細次項）

2014年度最低賃金改定実績(17地区)の最低賃金上昇率とCPI

地域	2013年最低月給基準	2014年最低月給基準	上昇率	CPI(2014 上半期)
上海	1,620	1,820	12.3%	2.6%
深セン	1,600	1,808	11.5%	2.8%
天津	1,500	1,680	10.7%	2.5%
浙江(1級都市)	1,470	1,650	10.9%	2.6%
北京	1,400	1,560	10.3%	2.2%
山東(1級都市)	1,380	1,500	8.0%	1.9%
内モンゴル(1級都市)	1,350	1,500	10.0%	2.1%
山西(1級都市)	1,290	1,450	11.0%	2.1%
雲南(1級都市)	1,265	1,420	10.9%	2.3%
四川(1級都市)	1,200	1,400	14.3%	1.9%
河南(1級都市)	1,240	1,400	11.4%	1.8%
江西(1級都市)	1,230	1,390	11.5%	2.8%
甘肅(1級都市)	1,200	1,350	11.1%	2.2%
陝西(1級都市)	1,150	1,280	10.2%	2.0%
青海(1級都市)	1,070	1,270	15.7%	2.3%
重慶(1級都市)	1,050	1,250	16.0%	1.7%
貴州(1級都市)	1,030	1,250	17.6%	2.4%

【社会平均賃金】

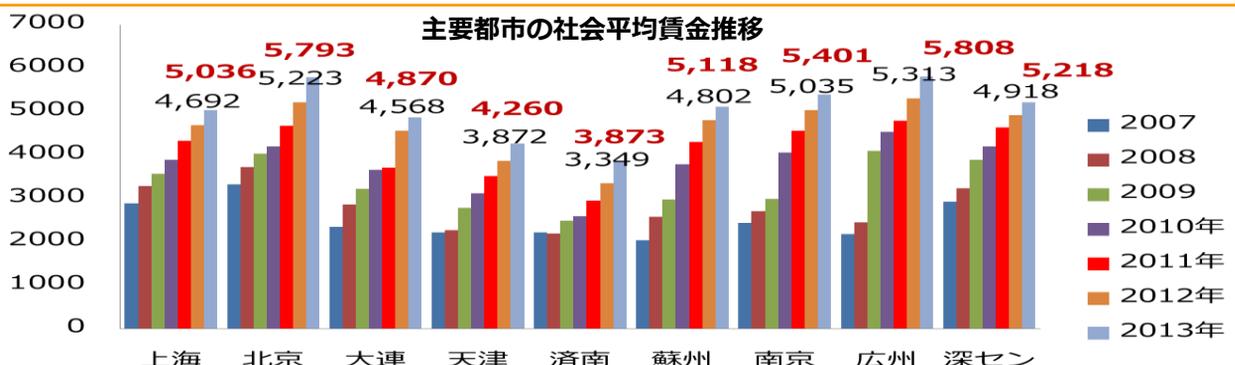
下表は、本年最低賃金改定済みの17地区の平均賃金上昇率と最低賃金上昇率の対比です。

地域	2013年社会平均賃金	社会平均賃金上昇率(前年比)	最低賃金上昇率(前年比)	CPI(2014上半期)	地域	2013年社会平均賃金	社会平均賃金上昇率(前年比)	最低賃金上昇率(前年比)	CPI(2014上半期)
上海	5,036	7.0%	12.3%	2.6%	四川	4,085	12.0%	14.3%	1.9%
深セン	5,218	5.7%	11.5%	2.8%	河南	3,234	2.1%	11.4%	1.8%
天津	4,260	10.0%	10.7%	2.5%	江西	3,539	9.3%	11.5%	2.8%
浙江	3,709	10.0%	10.9%	2.6%	甘肅	3,676	12.8%	11.1%	2.2%
北京	5,793	10.9%	10.3%	2.2%	陝西	4,071	9.2%	10.2%	2.0%
山東	3,971	10.7%	8.0%	1.9%	青海	4,342	10.1%	15.7%	2.3%
内モンゴル	4,282	8.4%	10.0%	2.1%	重慶	4,251	11.0%	16.0%	1.7%
山西	3,951	5.2%	11.0%	2.1%	貴州	3,649	12.3%	17.6%	2.4%
雲南	3,682	11.9%	10.9%	2.3%	全土平均		9.37%	14.20%	

NAVI : 格差是正のため、最低賃金上昇率は平均賃金上昇率を上回るのが通常でしたが、本年は北京、山東省、雲南省、甘肅省で逆転現象が出ています。最低賃金に影響を受けやすい、製造現場工員の賃金上昇による製造業のコスト増への対処策として、最低賃金上昇率を抑える動きがあることが推測されます。

一方、収入分配に関する政策では、2015年に最低賃金を地域平均賃金の40%に引き上げるという指導があり、動向が注視されます。

最低賃金改定の17地区は重点都市と省の単位となっていますが、賃金政策は市、区、開発区のレベルでも調整されています。下表は主要都市の社会平均賃金推移です。



■ 2014年の新卒採用

2014年は新卒の就職が史上最難関となると言われていました。7月30日に北京大学が公表した全国35万余の90年代生まれの新卒生から収集した就業状況調査では、6月末までの90年代生まれの新卒生の就職率は14.3%であったとされています。

【初任給】

全サンプルの平均初任給（全国）は2,443元（昨年比324元増）。平均希望初任給は2,606元（昨年比391元増）。実際の初任給との差異は163元であり、昨年より“夢と現実”の格差は拡大傾向。

【学歴別】

大学本科以上：2,776元（高学歴者（短大以上）の就職率は7%）

【性別】

男性平均：2,630元 女性平均：2,241元 *男性平均は女性平均を389元/月上回る。

90年代生まれ新卒者の初任給（北京大学調査、学歴不問）

	都市名	新卒生の初任給レベル		都市名	新卒生の初任給レベル
1	上海	3,241元	14	福州	2,254元
2	北京	3,109元	15	西安	2,228元
3	深セン	2,905元	16	貴州	2,182元
4	広州	2,839元	17	フフホト	2,180元
5	南京	2,813元	18	昆明	2,159元
6	合肥	2,717元	19	鄭州	2,128元
7	杭州	2,664元	20	長沙	2,120元
8	蘇州	2,625元	21	瀋陽	2,110元
9	天津	2,596元	22	成都	2,109元
10	青島	2,563元	23	南昌	2,071元
11	重慶	2,536元	24	武漢	2,018元
12	済南	2,483元		その他都市	2,236元
13	石家荘	2,300元	平均	全体	2,443元

NAVI

中国の初任給は学歴格差、大学格差が大きく、本調査データは直接実務に利用できる数値ではありませんが、地域格差を測るという点では参考となる調査と思われます。また中国で男女格差の存在を明確にした調査は少なく、一見の価値のあるデータと思われます。

学位別初任給：<http://cochicon.com/1-5-2/>

特別セミナーのご案内 労働保障監察処 処長に聞く

「最新労働法規、労務政策への対応～企業の労務トラブル回避施策指南～」

労務トラブル防止の為に企業監察の責任者より、トラブル回避策を伺います。日中同時通訳を手配しております。日本人管理者、中国人管理・担当で情報を共有し、実務に反映頂ける内容としております。ぜひ、この機会をご活用下さい。（詳細は別添ならびに弊社HPをご参照下さい）

【日時】10月28日（火）14：00～16：45（13：30開場）

【会場】花園飯店 2階 百花庁（茂名南路58号）

【講師】上海市人力資源・社会保障局 労働保障監察処 処長 張憲民氏

コチ コンサルティング（上海） 法人代表 中内重郎

【言語】日中同時通訳 【費用】弊社非会員企業様：500元/人、会員企業様：無料（2名まで）

【詳細、お申込み】http://cochicon.com/sp_seminar/